

1. 課題名

当院の急性期心不全患者に対する心不全早期アクティビティの取組み

2. 担当科 申請者

リハビリテーション技術科 水上 紘司

3. 目的

高齢心不全患者の入院関連機能障害(HAD:Hospitalization-Associated Disability)は予後不良であり、予防のためにリハビリ時間や身体活動の確保が重要である。増加の一途をたどる心不全患者に対し少人数の療法士でも早期離床、離床時間の増加、認知機能維持、ADL維持、患者の疾患管理能力向上を図るために個別リハビリに加えて心不全早期アクティビティ(HF-EA:Heart Failure-Early Activity)という取り組みを開始し、その有効性を評価した。

対象：当院に心不全で入院し、入院時に心不全早期アクティビティ(HF-EA:Heart Failure-Early Activity)に参加された患者さん

4. 利用又は提供する試料・情報、提供方法

試料・情報：診療録 など

5. 倫理審査委員会

本研究の実施については令和7年5月22日に当院医学系研究等倫理審査委員会にて承認された。

<当施設の研究責任者（相談窓口）>

所 属： 静岡市立静岡病院

研究責任者： リハビリテーション技術科 水上 紘司

電話番号： 054-253-3125（代表）

<研究に関する資料の入手や閲覧・問い合わせ>

相談窓口： 静岡市立静岡病院 臨床試験管理センター

電話番号： 054-253-3125（代表）

e-mail： chicken2@shizuokahospital.jp